

カクダイ 壁付2ハンドル混合栓

壁付タイプ

施工説明書

施工前に必ずお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

安全上のご注意

施工される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。



注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



気をつけていただきたい「注意」を表します。



指定した場所に触れないでください。



してはいけない「禁止」を表します。



必ず実行していただく「強制」を表します。



注意



- 温泉水・中水・飲用不可な井戸水には使用しないでください。
- 湯と水を逆に配管しないでください。やけどや器具破損の恐れがあります。



- 元止式湯沸器には使用しないでください。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。



- 湯側ハンドルのみを開く場合、高温の湯がそのまま出ます。取り扱いには十分ご注意ください。
- 幼児やお年寄り、お体の不自由な方がご使用になる際は、十分にご注意ください。



- 水栓本体の左側は給湯側のため高温になっています。金具(金属)の表面に直接肌を触れないでください。
- 高温の湯をご使用の際は、吐水口(パイプ)は高温になっています。直接肌を触れないでください。



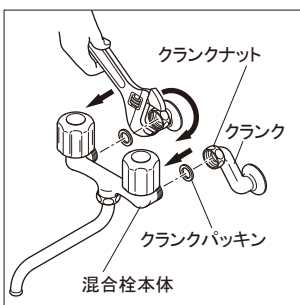
- 高温の湯をご使用後は、水栓内に高温の湯が残らないようにしばらく水を流してください。次に使用する際に、水栓内に滞留した高温の湯が出て、やけどをする恐れがあります。
- 凍結が予想される場合は、配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください(寒冷地仕様)。凍結破損で水もれし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- 湯をご使用の際は、水側ハンドルから開栓してください。その後ゆっくり湯側ハンドルを開栓し、お好みの温度に調節してください。湯側ハンドルを先に開栓すると高温の湯が出て、やけどをする恐れがあります。

取り付けの前に

* 数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を閉めて取り付け作業を行ってください。

1. 古い混合栓本体を取りはずします。

「レンチ」などで、クランクナットを右方向にまわして、クランクから混合栓本体とクランクパッキンを取りはずします。

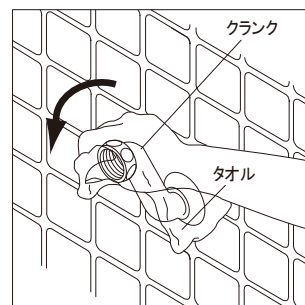


混合栓本体は重量があります。落下などに十分注意して作業を行ってください。

2. 壁からクランクを取りはずします。

安全のため、固定されているクランクにタオルをあて、両手で左方向にゆっくりまわして取りはずします。

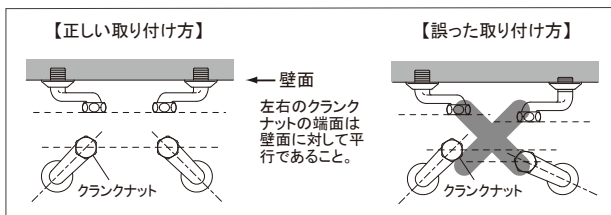
* この時、壁内のザルボがゆるまなようにご注意ください。



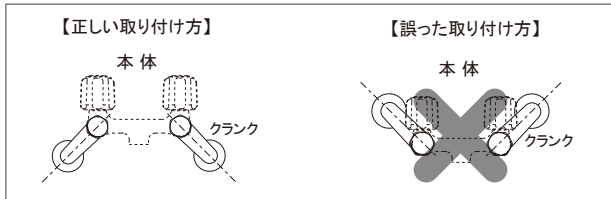
取付方法

1. クランクの位置を確認します。

クランクをそのまま壁に取り付け、クランクナットの端面が下図のように壁面に対して平行であり、クランクナットの中心の位置がそれぞれ同じ高さになる時の、クランクの回転数を確認して覚えておきます。

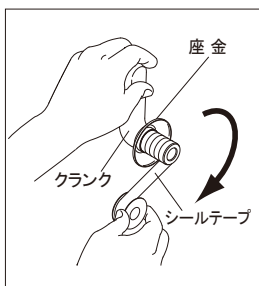


* 寒冷地用の場合は、下図を参考に取付けてください。



2. クランクのネジ部にシールテープを巻き付けます。

クランクのネジ部に座金を取り付けた後、左手でクランクをしっかり握り、右手でクランクのネジ部にシールテープをあてます。そのまま軽く引っ張りながら右方向に7～8回、均等になるように巻き付けます。巻き終わりましたら、シールテープを強く引っ張ってちぎります。

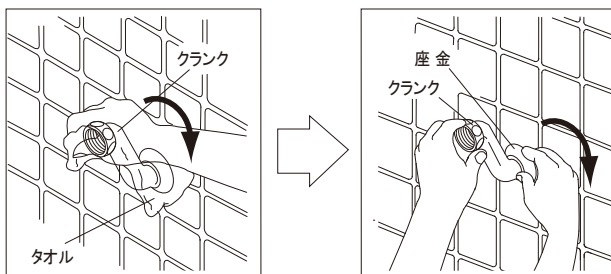


3. クランクを取り付けます。

クランクにタオルをあて、**取付方法 1.**で確認した回転数より、1回少ない回転数まで右方向にまわして締め付けます。

締め終わりましたら、座金をまわし壁に密着させてください。

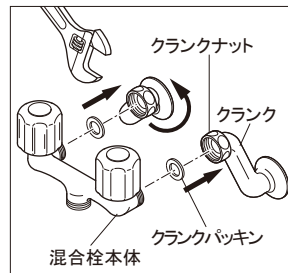
* シールテープの巻き具合によっては、確認した回転数までまわせない場合があります。



クランクを取り付ける際、逆方向にまわしてゆるめると水もれの原因になります。ゆるめてしまった場合は、もう一度**取付方法 2.**からやりなおしてください。

4. 混合栓本体を取り付けます。

クランクナットにクランクパッキンをはめ込み、混合栓本体をクランクに取り付けます。「レンチ」などでクランクナットを左右均等にしっかりと締め付け、混合栓本体をクランクに固定します。



混合栓本体は、重量があります。落下などに十分注意して作業を行ってください。

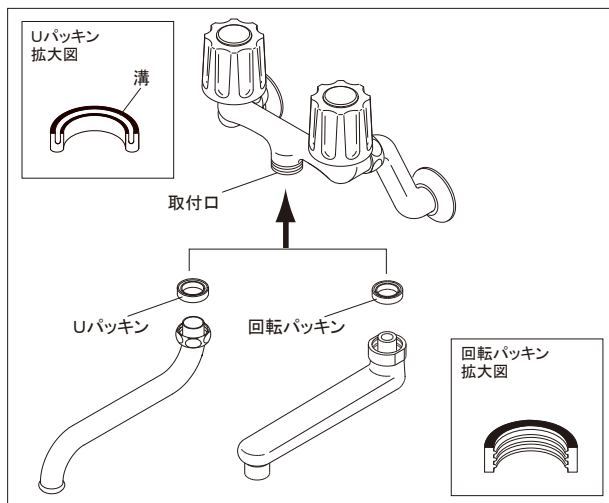
5. 吐水口(パイプ)を取り付けます。

* すでに吐水口(パイプ)が混合栓本体に取り付けられている場合は、「● 取り付け後の点検」へ進んでください。

吐水口(パイプ)ナット部の白キャップとパッキンを取りはずします。Uパッキンの場合は、溝のある方を混合栓本体取付口に向けて差し込みます。

次に吐水口(パイプ)を取付口に差し込み、ナットを締め付けます。

* 回転パッキンの場合は、向きはどちらでもかまいません。



Uパッキンの挿入方向をまちがえたり、傷をつけたりした場合、水もれや回転不良の原因となります。ご注意ください。

● 取り付け後の点検

* 元栓を開き、各部に水もれがないかを確認してください。水もれが見された場合は、元栓を閉め、水もれる箇所を施工しなおしてください。

(販売元)

atelier DADA 株式会社

〒800-0217 福岡県北九州市小倉南区下曾根2丁目11-16

☎ (093)967-8002

(製造元)

株式会社 カクダイ

●水と住まいの接点

M-A8004